



エクスポート4130

FOR ADULT ONLY

私……
稀神サグメには
悩みがある

最近
朝目覚めると……
その……

陰部が
濡れているのだ……

それも
かなり……

じわ……



自身の名誉のために
言っておくが

これは決して
寝ている間に
失禁したわけではなく…

……性的興奮を
覚えたときに
分泌される
体液のようである

ポイッ

Laundry

ぬちゃ…

この現象が
最初に起こったのは

あの異変が終わって
しばらくしてから
だったかしら…

それ以降徐々に
頻度が増え
ここ一週間は毎日…

いったい
私の身体に
何が…

あっ…

替えの
下着がない…！

月の都

結局下着を履かずに
出てきてしまった…

パ…
バレていない
かしら…

むわ

ドキ

むわ

ドキ

いつもより
視線を感じるのは
気のせいよね…？

やっぱり今日は
休めばよかった…

いや…
噂好きの
玉兎達のことだ

急に私が
休暇など取ったら
有る事無い事
言い触らすだろう

そんな晒し者に
されてたまるものか





申し訳ありません!
急いでたもの……?!

はわわわ!!



しまった:
つい考え事に
夢中に……

いや……
気にしなくていい



さ、サグメ様!?

ロ
ト
サ
ワ



カ
ア
ア
ア



今私の見間違いじゃなければ下着を
つけていなかったような...? そんな
サクメ様もあるうお方がなぜ履き
忘れただけだろうか...いやしかしそん
な初歩的なミスをサクメ様が犯すだろ
うか...となるとやはりわざと...否! 何
馬鹿なことを考えているんだ私は! 意
図的に下着を履かないなんてまるで
サクメ様の変態みたいではないか! 私
の敬愛するサクメ様がそんな愚かな真
似を...!!

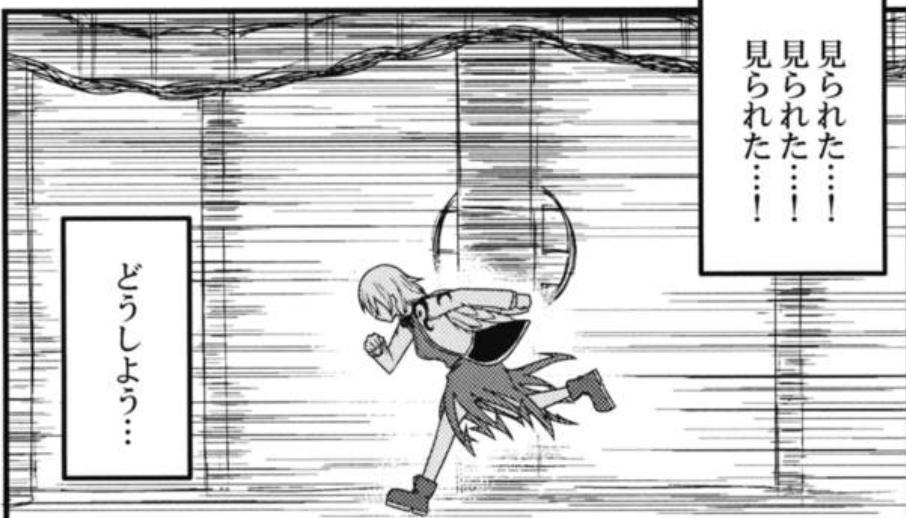


サクメ様...
あの...

あっ...

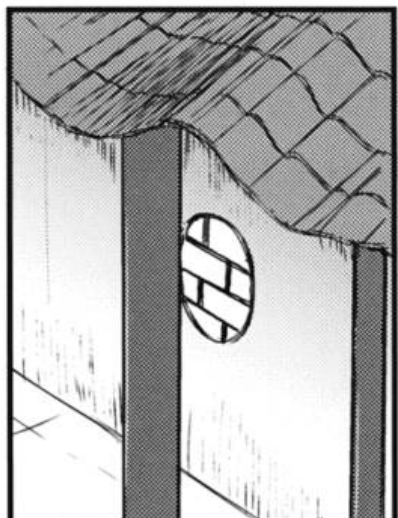


ぬいせせせ



見られた...!!
見られた...!!
見られた...!!

どろり...!!



やっぱり今日は
帰った方が...



咄嗟に逃げて
しまったけれど
弁解した方が
良かったかしら...

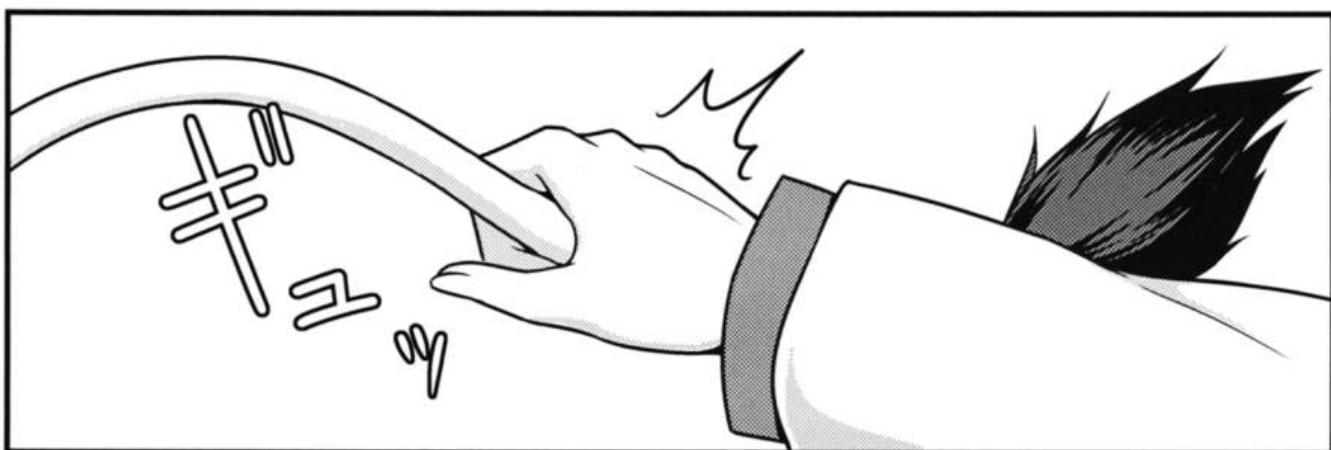
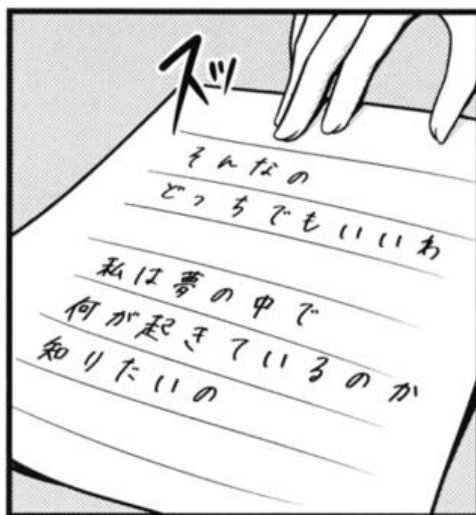


サグメ...?
どうしたの?



...ムム...







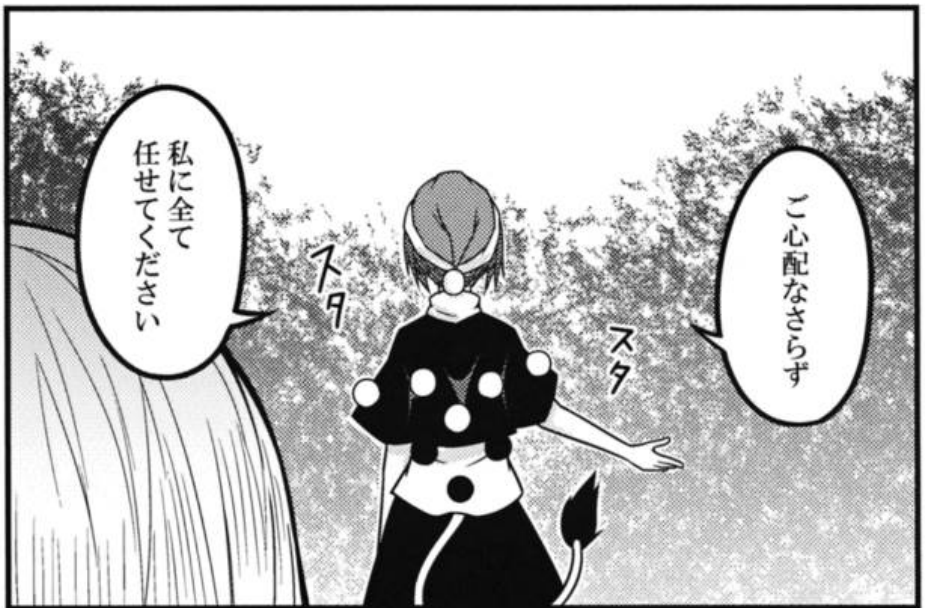
ちよっ…尻尾は
触らないでって
いつも…



そんなに
見つめられると
照れちゃいますよ



…

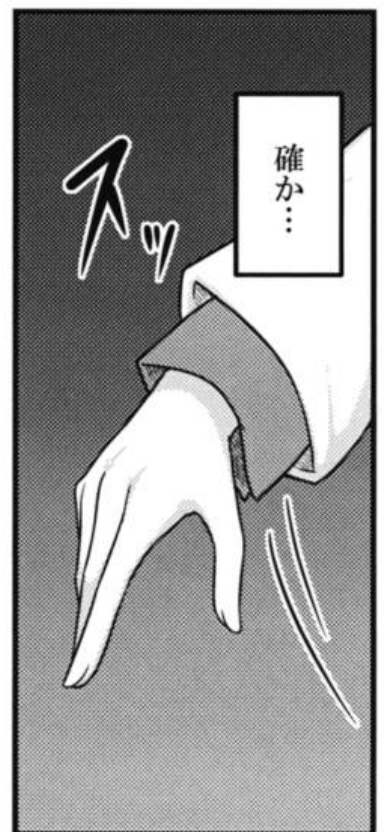
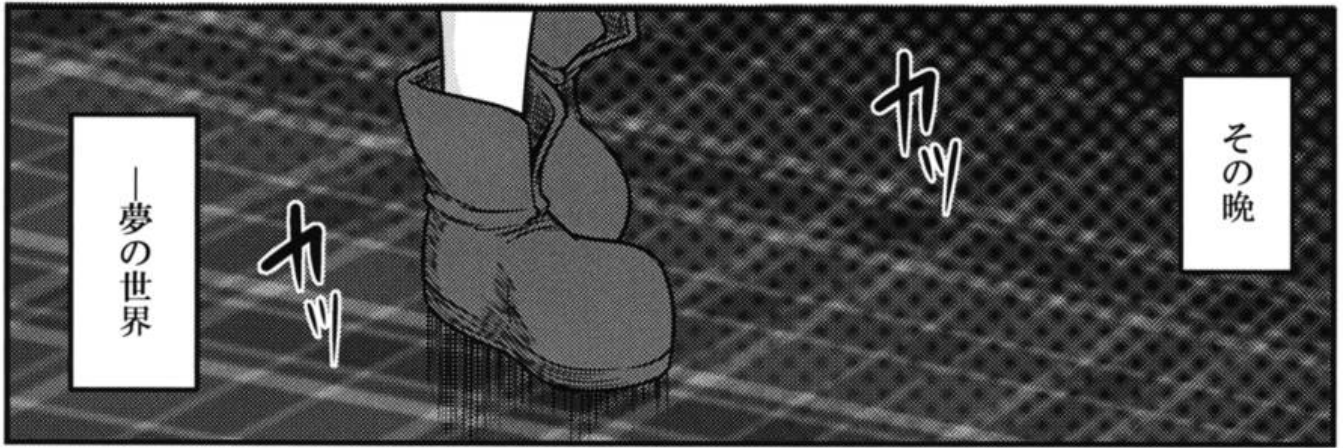


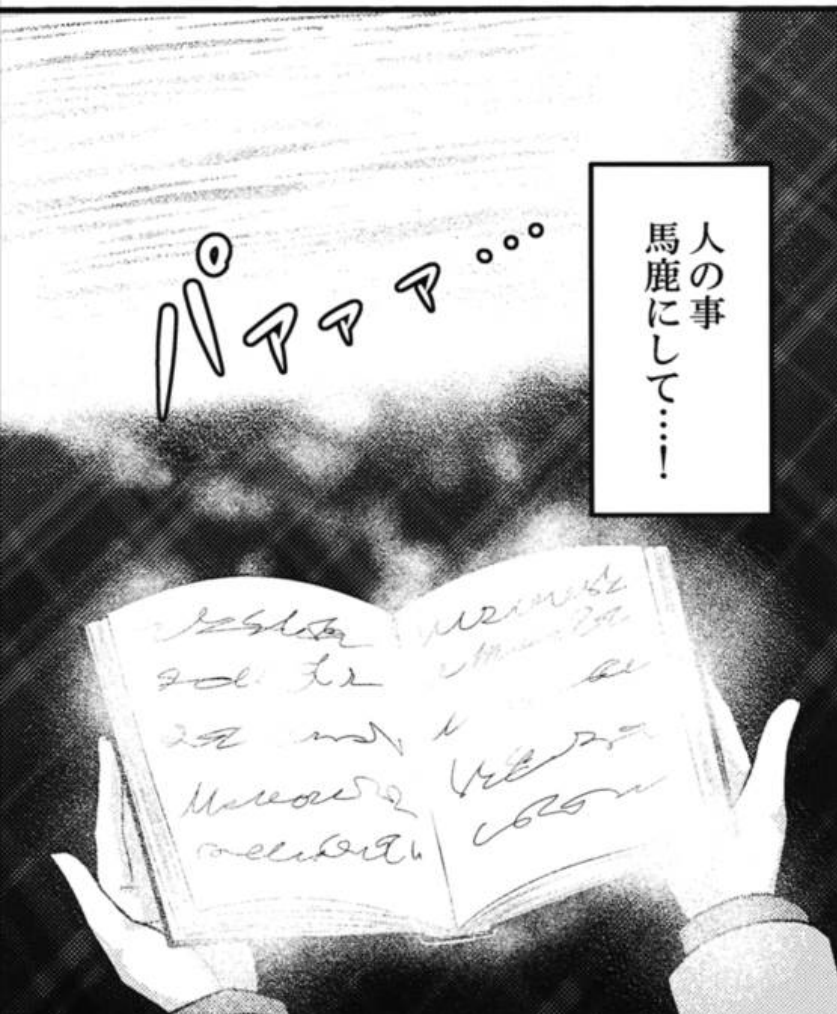
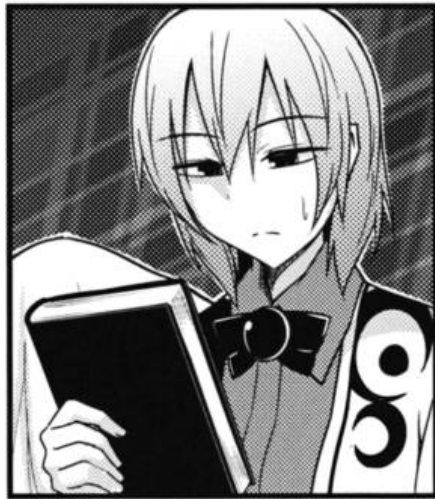
私に全て
任せてください

ご心配なさらず

フワ

スタ











そんな話
聞きたくないっ！

やめて！



最初は初々しく
戸惑ってる様子
でしたけど

徐々に慣れてきたのか
最近じゃ自分から
腰振っちゃってそれが
もう可愛くって……



でも事実
なんですよ

認めたくない
ですよ
そんなの



なっ……

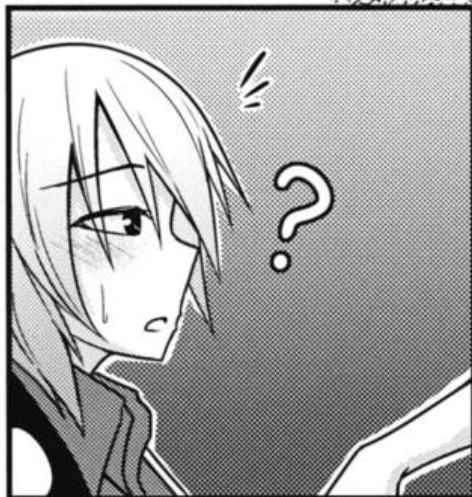


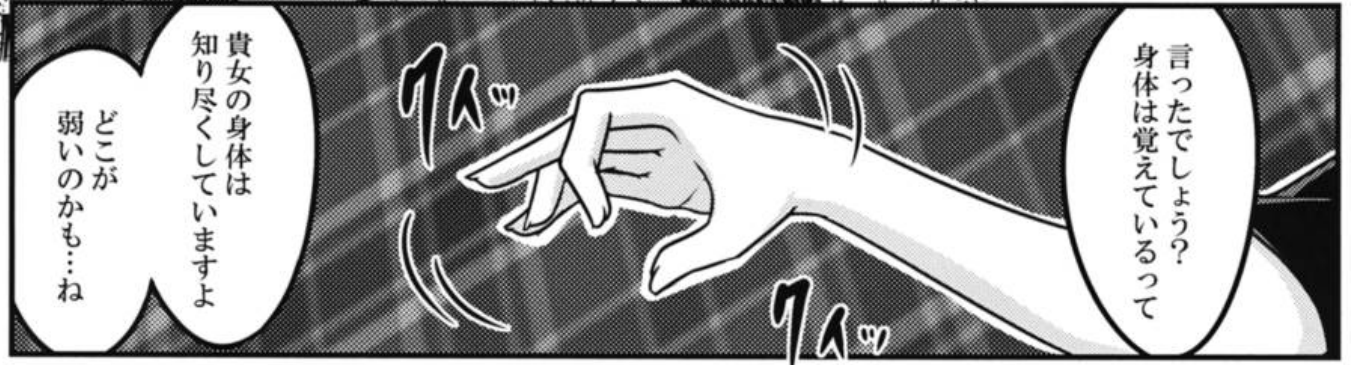
やめっ



夢の中の事を
覚えていなくても

身体は
覚えてるんです







ほうら…
すんなり
入ったでしょ？

んっ…

どうですか？

思い出して
きましたか？

まったく…
やらしいひと
ですね

ヌ



？

そういえば
以前こんな
話をしましたね



何をするつもりか
気付きました？



そして
私は夢を自在に
操ることができる

「全ての生き物が見る夢は
根底部分で繋がっている」

…！





さあ!



こっちに
近づくことは
できませんよ



私が
色々と細工を
していますから



ああ
安心して
ください



月の賢者稀神サグメの可愛らしい姿を皆にも見てもらいましょう!



ガワ

しかし...



ガワ

生身の貴女が実際にこの場で犯されてるだなんて誰も思いませんよ

はわわ

あう

サグメ様



それにどうせ夢で見たことです

カアア...



あの容姿端麗
才色兼備なサグメ様が

こんなに
気持ちよさそうに
している様子が

あられもない姿で
身体を犯され



きっと翌朝
皆の記憶には
残るでしょうねえ



我慢しなくて
いいんですよ？



皆見守られながら
イッチャって下さい

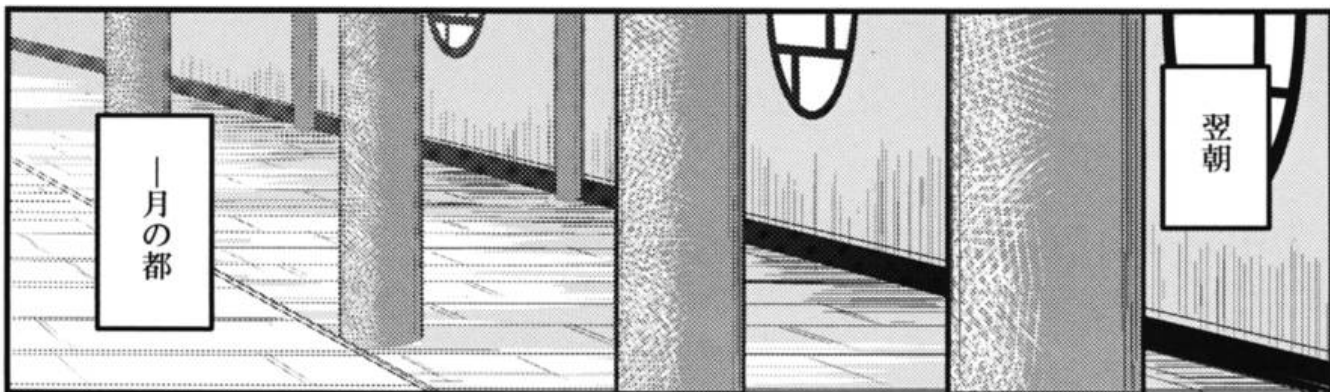


どうです？
恥ずかしいですか？

それとも皆に
見られて一層
興奮しちゃいましたか？









はあ…



何ともないようね…
考え過ぎか…



…

ええ
いいわよ



私が見ていた夢…
あれもドレミーが
望んでいたことなの？

それとも…
まさか私に好意を
抱いているの…？



ドレミーに
あんなことを
されるなんて…

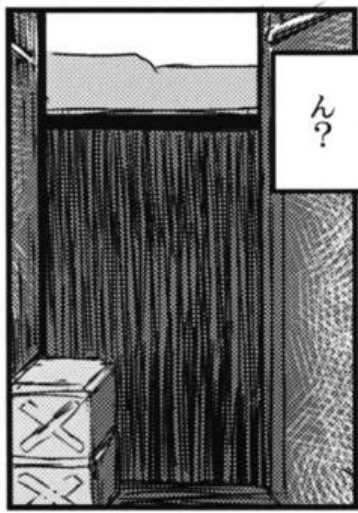
私を辱めるのが目的…？
恨まれるような
心当たりはなかった
はずだけど…

いったい
どういうつもり
なのかしら…



ねえ

トラブルは—



ん？



でもそれなら
昨日のあの様子は…

私も
私は
これからいったい
どうすれば…









待ちなさい
依姫

!?

えっ?



ああ…

ひっ…



違う
これは…



お前達
お行きなさい

はっはいいっ!

このことは
忘れるように

これはきつと
ドレミーの仕業

この玉兎達に
罰を与えても仕方ない



なんと説明したら
いいのだろう…



…何故奴らを
庇うのですか!

サグメ様に
こんなことをして
ただで済ませるわけには…



大丈夫ですか
サグメ様

ええ
ありがとう

何か事情が…

まさか…!?

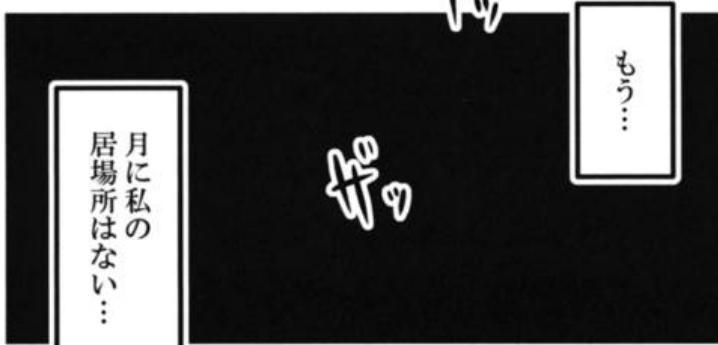




そんな…
依姫まで…



私は…何を…?



月に私の
居場所はない…

もう…



ああ…
最低だ…

私までサクメ様に
欲情するなんて…

これでは
あの兎達と
同じではないか…

迷いの竹林



やっぱり
夢の世界へ戻れば
よかっただろうか……



八意様なら……
八意様ならきつと
何か助言をくださるかも
しれない……



でも……
今はドレミーに
会いたくない……

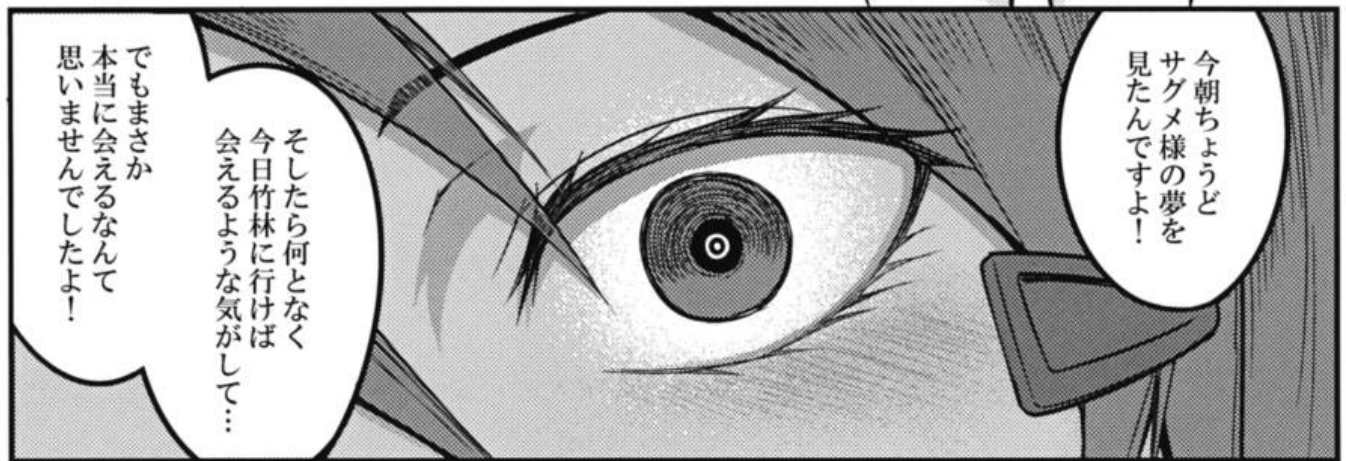


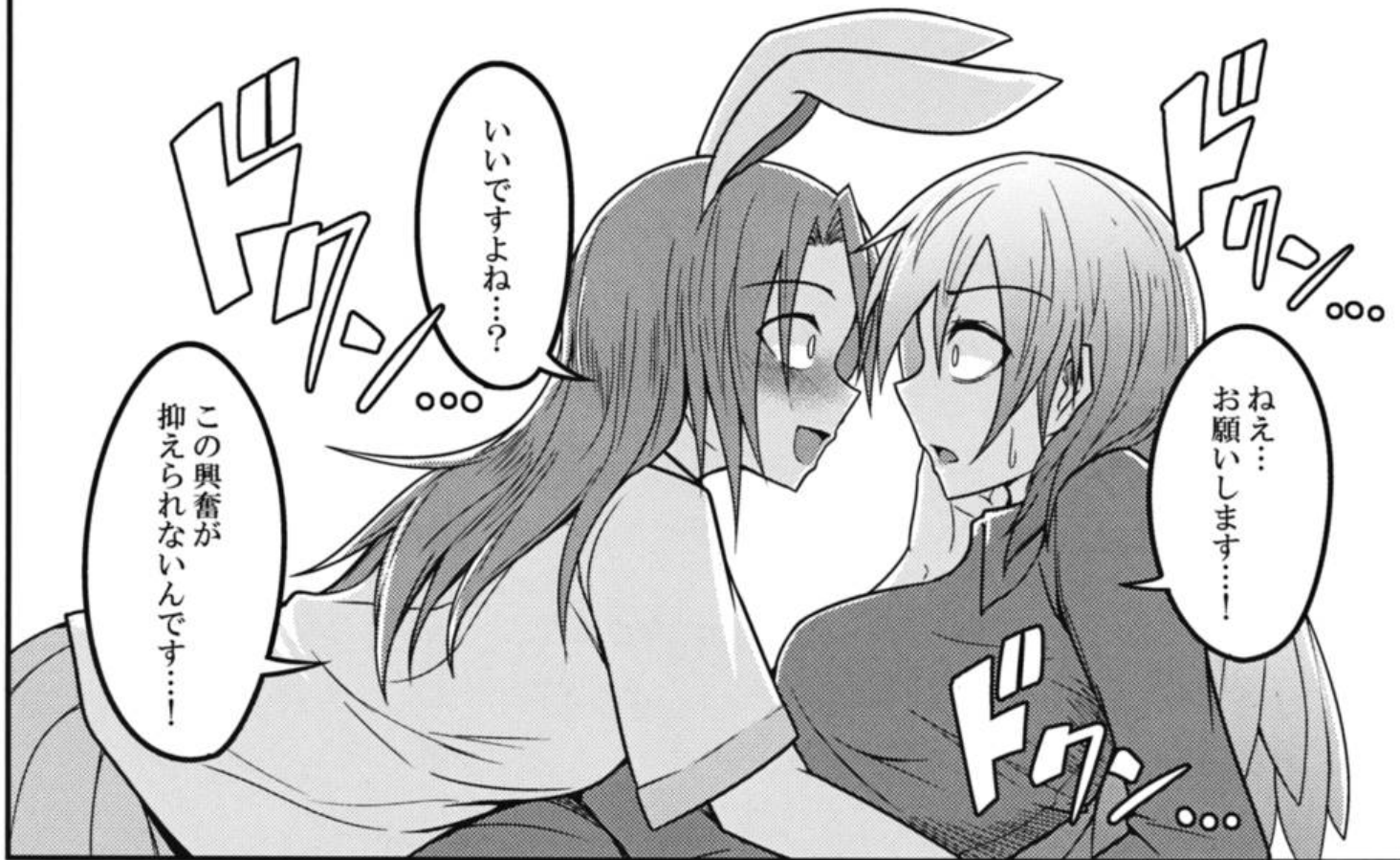
サグメ様……!



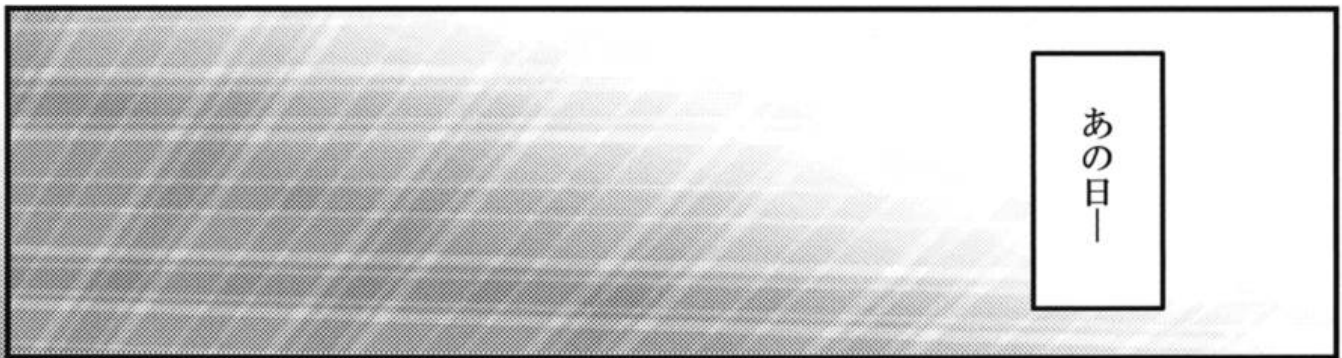
迷いの竹林の……
この道で
あつてるわよね……?

何だか
同じところを何度も
通っているような……













本当は自分以外には
誰にも触らせたくはないし
人目に触れさせたくも
ないんでしょ？

だからって普通
好きな娘を別の誰かに
犯させたりする？

現実のサグメさんの
隣に立つ資格なんて
ないんですよ

現実を置き去りにして
夢の中のサグメさんに
自分の欲望をぶつけて
しまった私には



でも…もう…私は
サグメさんに好意を
向けてもらうことは
できないんです…

そんなの…
当たり前じゃ
ないですか



呆れた…どこまで
馬鹿なのよ貴女は

はあ…



向けられる感情が
憎悪でも何でもいから
私の事だけを
考えてくれたら…

心も身体も
私だけのものにできれば
形はどうだっていいんです



だからとことん
嫌われてやろうって…

アッ



あとがき

ドレスサグはいいぞ

奥付

コメントりるる

発行日 2016/03/13
原作 上海アリス幻楽団 様
印刷 株式会社ポプルス 様

発行者 黒羽ラピッド
サークル ラピスラズリ鉱石

niconico user/11713851
pixiv id=8706338
twitter RaPiD_CLOVER
mail blackdevil2223@gmail.com

※無断転載、複写、アップロード等禁止





エクスポート450

FOR ADULT ONLY

運命の車輪は逆転する

東方project Fanbook

Presented by ラピスラズリ鉱石